

第 50 回通常総代会特別アピール

「協同の力で平和な社会を築いていきましょう」

私たちは「平和とよりよい生活のために」あらゆる戦争に反対し平和を願い、核兵器廃絶にむけて力を合わせてみんなで取り組みましょう。

市民生活協同組合ならコープは、自分たちのくらしを良くしたいと願った主婦たちが集まり、1974 年、奈良市民生活協同組合として誕生しました。創立以来大切にしてきた平和の理念「よりよい生活は平和であってこそ実現する」をもとに、文化と歴史を大切に、子どもたちに平和な未来をつなぐことを願い平和の取り組みをすすめています。

2月24日に始まったロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻により、尊い人命が奪われ続けています。武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反であり、国際社会の平和と秩序を脅かすものです。ならコープは翌25日の理事会で「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻への抗議と即時中止を求める声明」を発することを採択し、声明文を在日ロシア大使館に送付しました。また、ウクライナ国内とその周辺国に避難した子どもたちとその家族の支援のための「ウクライナ緊急募金」の取り組みや、ウクライナから奈良県に避難された家族への「食糧支援」などにも積極的に協力しています。

唯一の戦争被爆国の国民である私たちは、被爆者が送られた過酷な人生に寄り添い、悔しさ、憤り、核兵器の恐ろしさを後世に伝えていくことが大切です。

「わが子を戦場に送りたくない」という私たち組合員の願いのもとに、あらゆる戦争に反対し、核兵器廃絶と世界平和への思いをこれからも強く声にあげていきます。

日本国内では、戦争の抑止力として「核共有」や「防衛費増額」そして、「憲法改定」などの議論がなされようとしています。ならコープはこれらのことを注視し、冷静かつ慎重に判断していく必要があると考えています。そのために、憲法学習をすすめ、被爆証言の継承、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求め続け、市民としての声を上げ、協同の力で平和な社会を築いていきましょう。

2022年6月14日
市民生活協同組合ならコープ
第50回通常総代会